

2009年3月期(第2四半期)

決算説明会

2008年11月18日

日機装株式会社

この配布資料に記載されている業績予想は、将来の実績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、今後の日本経済や当社関連業界の動向、新たな事業・製品・サービスや価格水準等さまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知おき下さい。

■ 目次

- 決算概要
- 円高の影響(為替相場の推移)
- 営業外損益、特別損益
- 受注高、売上高の推移
- 利益の推移
- カンパニー別売上高推移
- カンパニーの状況
- セグメント業績推移(事業別、所在地別)
- 貸借対照表
- キャッシュフロー
- 業績の見通し
- カンパニー別売上・受注予想

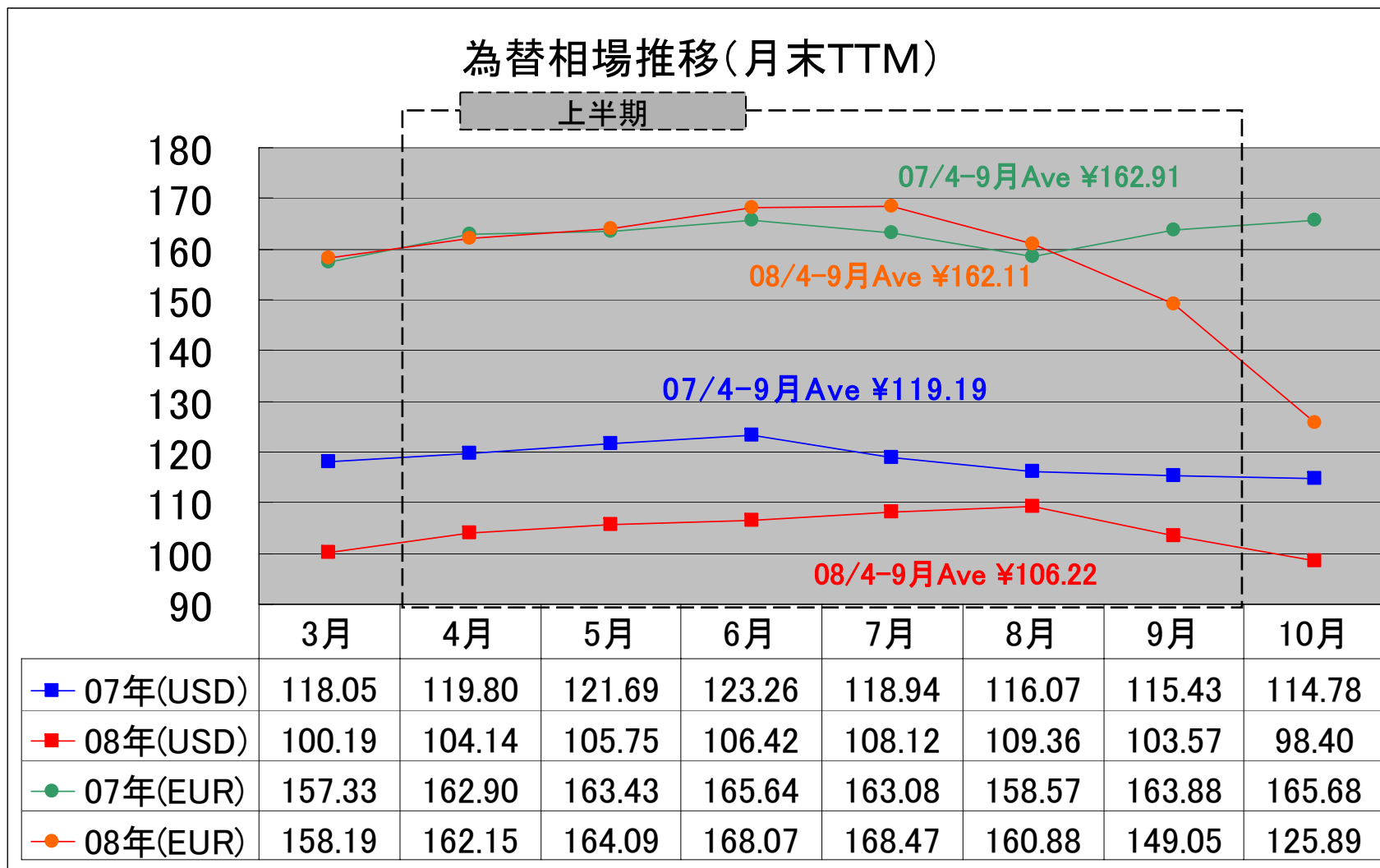
■ 決算概要(連結)



(単位:百万円)

	06年9月期	07年9月期	08年9月期	前期比	
受注高	33,248	37,045	37,597	551	1.5%
売上高	30,272	34,223	37,312	3,089	9.0%
売上総利益	9,267	11,071	11,372	301	2.7%
販管費	7,085	8,133	8,698	565	6.9%
営業利益	2,182	2,938	2,673	△264	△9.0%
経常利益	2,650	3,028	2,576	△452	△14.9%
当期純利益	1,605	2,135	947	△1,188	△55.6%

■ 円高の影響



■ 営業外損益(連結)



○ 主な営業外損益項目

(単位:百万円)

(収益)	07年9月期	08年9月期
受取配当金	135	161
持分法投資利益	83	41
受取地代家賃	72	78
(費用)		
支払利息	210	314
社債発行費	64	—
為替差損	62	220

■ 特別損益(連結)

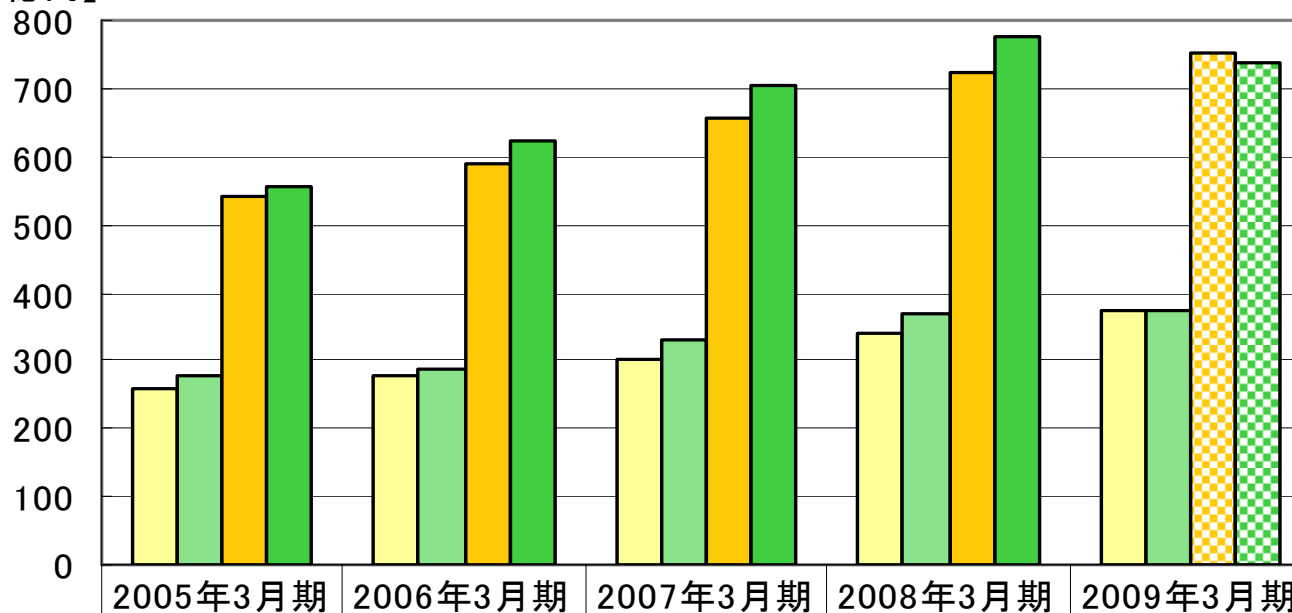
○ 主な特別損益項目

(単位:百万円)

(利益)	07年9月期	08年9月期
投資有価証券売却益	882	0
(損失)		
固定資産除却損	50	132
投資有価証券評価損	—	645

■ 受注高、売上高の推移(連結)

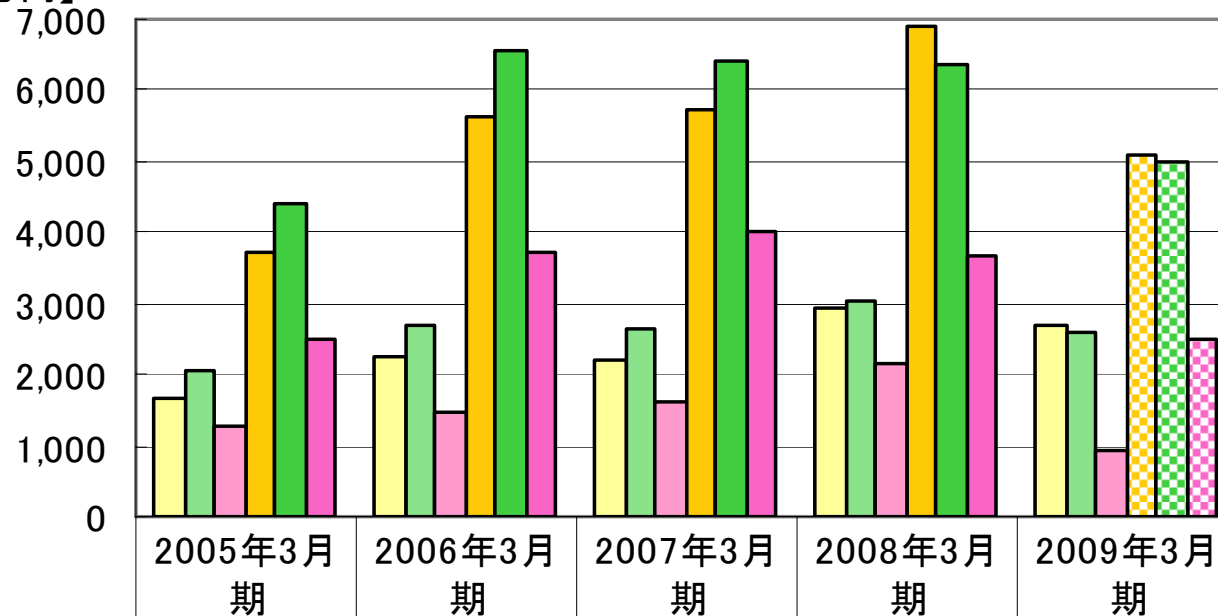
【単位：億円】



	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
売上1/2	259	280	303	342	373
受注1/2	280	288	332	370	376
売上	543	589	654	725	750 (予)
受注	555	623	702	774	740 (予)

■ 利益の推移(連結)

【単位：百万円】



	2005年3月 期	2006年3月 期	2007年3月 期	2008年3月 期	2009年3月 期
■ 営業利益1/2	1,675	2,246	2,182	2,938	2,674
■ 経常利益1/2	2,053	2,696	2,651	3,028	2,576
■ 当期純利益1/2	1,290	1,447	1,605	2,135	947
■ 営業利益	3,736	5,630	5,736	6,908	5,100(予)
■ 経常利益	4,388	6,554	6,410	6,369	5,000(予)
■ 当期純利益	2,518	3,709	4,015	3,657	2,500(予)

■カンパニー別売上高推移(連結)



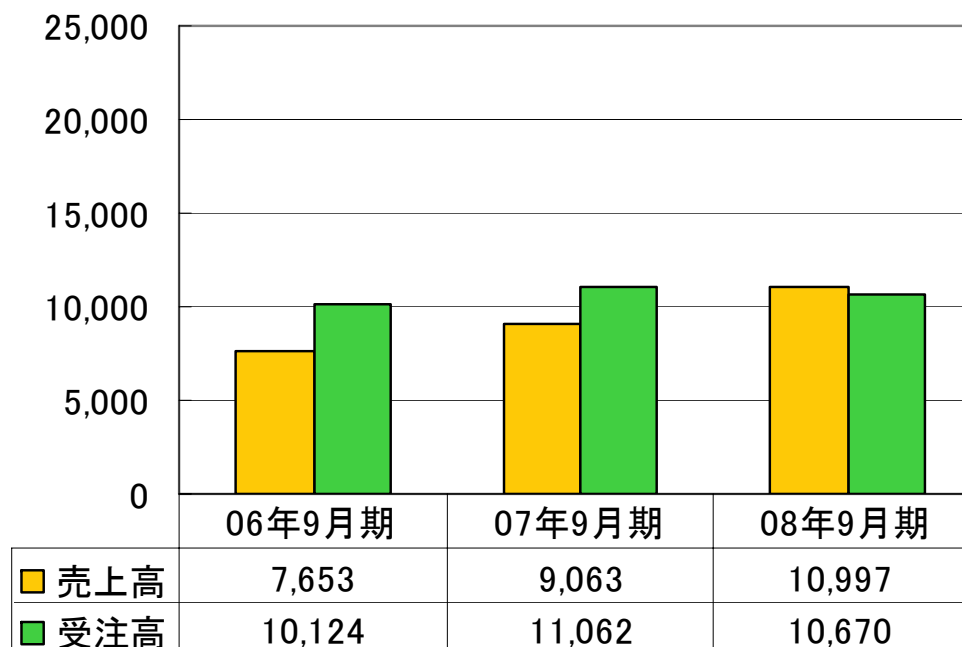
(単位:百万円)

	06年9月期	07年9月期	08年9月期	前期比	
流体技術	7,653	9,063	10,997	1,933	21.3%
ISOL	4,293	5,229	4,631	△597	△11.4%
複合材	2,025	2,821	2,396	△424	△15.1%
医療機器	16,300	17,108	19,286	2,178	12.7%

■カンパニーの状況

○流体技術カンパニー

単位: 百万円



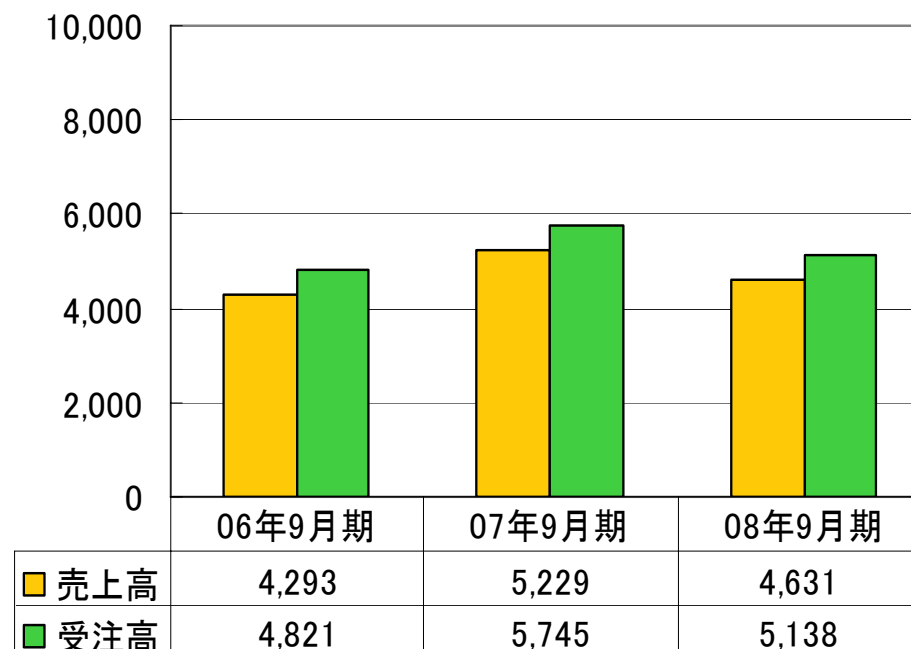
- ・海外向けのノンシールポンプ及びサンダインポンプ、並びに部品販売の受注は好調
- ・クライオジェニックポンプの受注は商談が遅れ、全体の受注は前年を下回る
- ・売上は豊富な受注残のもと半期実績で過去最高を計上

■カンパニーの状況



○インダストリアルソリューションズカンパニー

単位:百万円

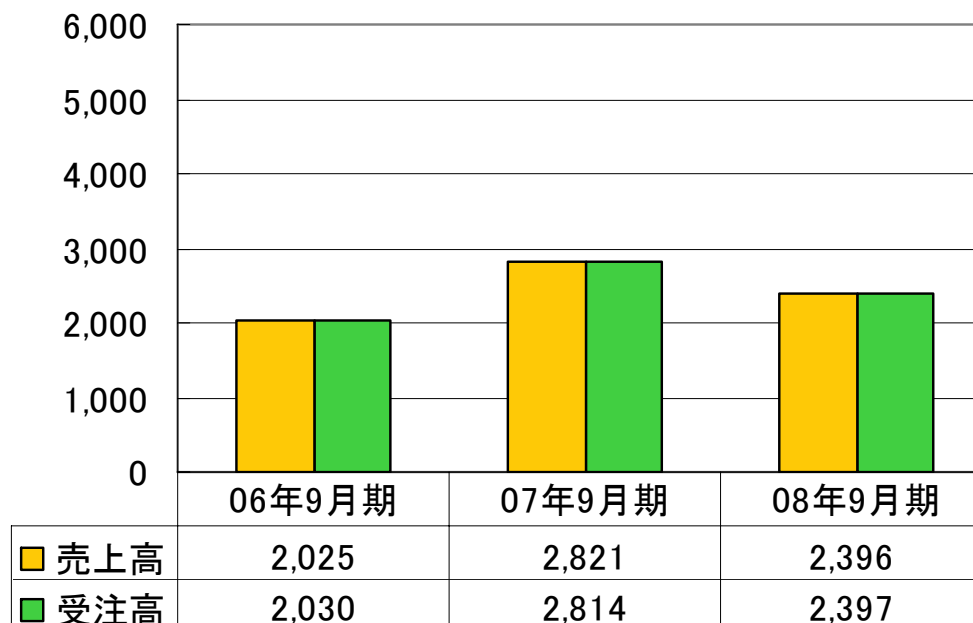


- ・工場排水処理装置の引き合いが活発、同装置を含む水質調整装置の受注は過去最高
- ・粉度分析測定装置も受注・売上とも好調を維持
- ・温水ラミネーターは電子部品業界が低迷期に入り、受注・売上とも低調

■カンパニーの状況

○複合材カンパニー

単位: 百万円



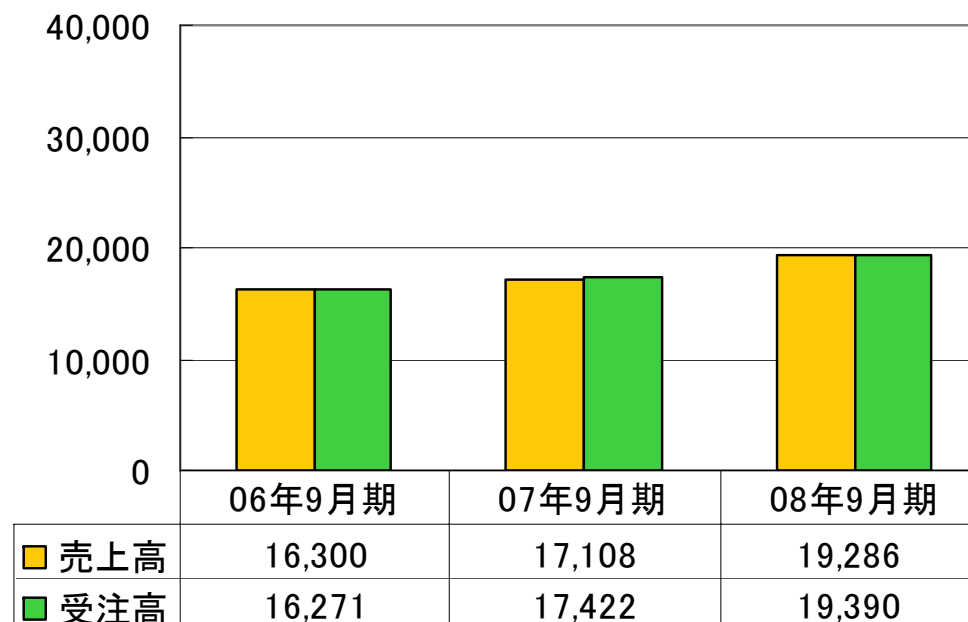
- ・円高の持続、ボーイング社の労組によるストライキ、B787の開発スケジュールの更なる遅れなどにより、受注、売上ともに前年を下回る

■カンパニーの状況



○医療機器カンパニー

単位：百万円



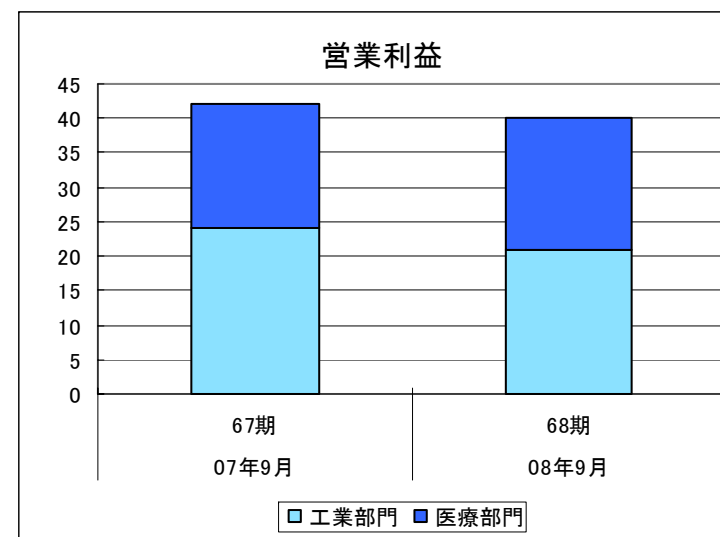
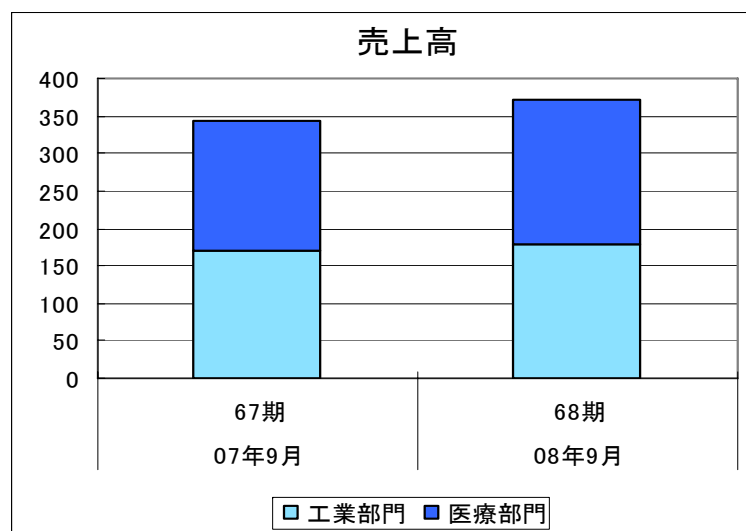
- ・人工透析装置の売上は、本年4月の診療報酬改定の影響により新規、買い替えとも伸び悩む
- ・ダイアライザー、血液回路、及び透析溶剤などの透析関連消耗品の売上は、透析患者の増加を背景に順調

■ 事業別セグメント業績推移(連結)

(単位:百万円)

		07年9月期	08年9月期	前期比	
工業部門	売上高	17,114	18,025	911	5.3%
	営業利益	2,409	2,124	△285	△11.8%
医療部門	売上高	17,108	19,286	2,178	12.7%
	営業利益	1,840	1,876	36	1.9%

(注)営業利益は、共通部門経費控除前の表示で、07. 09(13億)08. 09(13億)が含まれています。



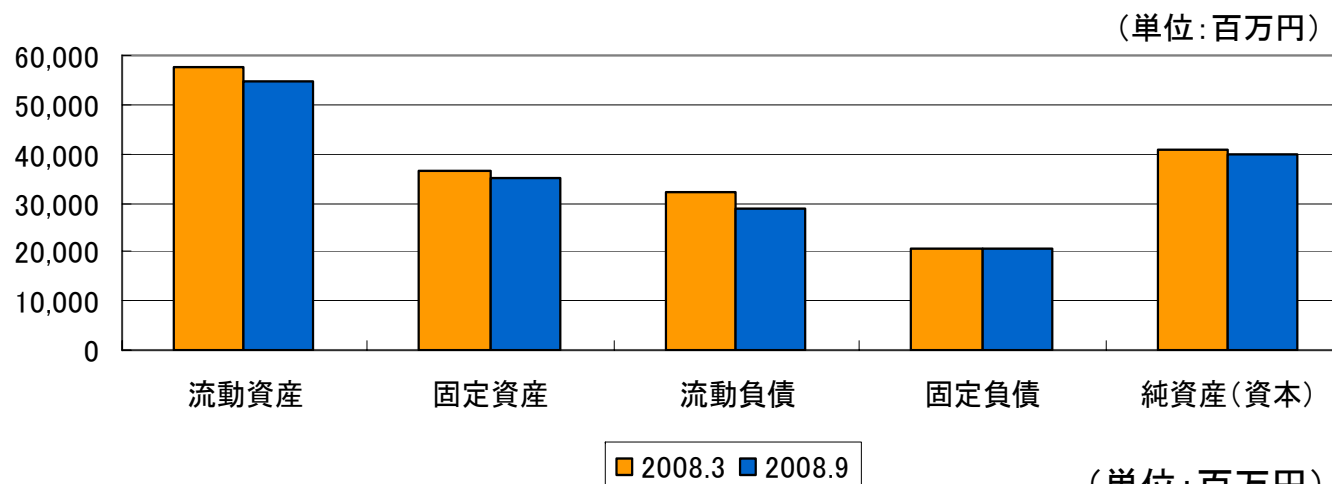
■所在地別セグメント業績推移(連結)



(単位:百万円)

		07年9月期	08年9月期	前期比	
日本	売上高	31,673	32,962	1,289	4.0%
	営業利益	4,273	3,793	△480	△11.2%
アジア	売上高	2,808	4,173	1,365	48.6%
	営業利益	4	213	209	5,225%
北アメリカ	売上高	1,672	1,750	78	4.6%
	営業利益	207	181	△26	△12.5%
ヨーロッパ	売上高	3,231	4,267	1,036	32.0%
	営業利益	△19	△153	△134	△705.2%

■ 貸借対照表推移(連結)



(単位:百万円)

	08年3月期	08年9月期	増減額
流動資産	56,502	54,542	△1,959
固定資産	34,654	34,935	280
資産合計	91,156	89,477	△1,679
流動負債	29,212	28,788	△424
固定負債	21,663	20,846	△817
負債合計	50,876	49,634	△1,241
純資産合計	40,280	39,843	△437

■ 貸借対照表(連結) 主な増減

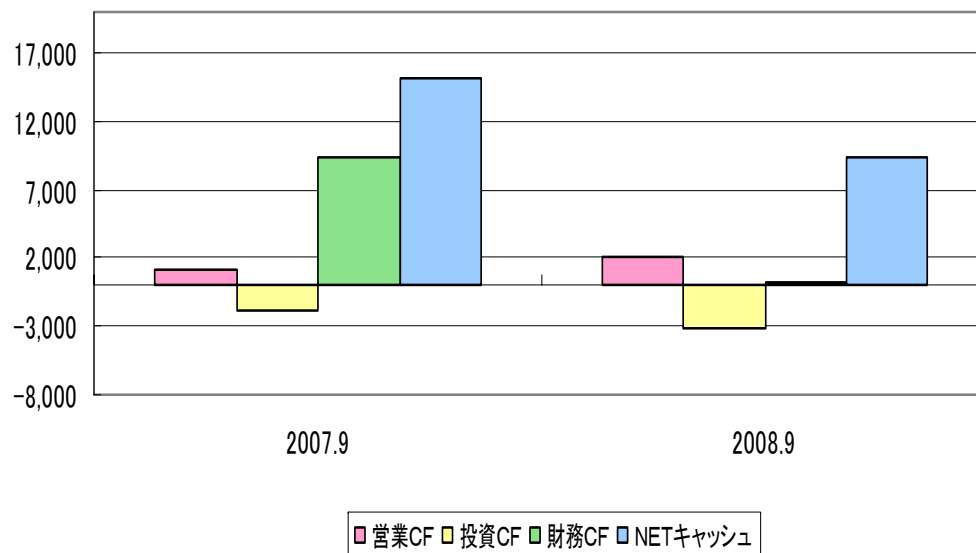


(単位:百万円)

	08年3月期	08年9月期	増減額
○資産の部			
現金及び預金	10,829	9,786	△1,043
受取手形及び売掛金	28,738	26,475	△2,262
棚卸資産	14,589	15,821	1,231
○負債の部			
未払金	2,898	2,025	△873
未払法人税等	1,720	788	△932
短期借入金	7,342	9,021	1,679
一年内返済予定長期借入金	1,840	2,101	260
長期借入金	14,284	13,277	△1,006
○純資産の部			
株主資本	38,292	38,053	△238
評価換算差額等	1,397	1,267	△129

■ キャッシュフロー(連結)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	07年9月期	08年9月期
営業CF	1,192	2,159
投資CF	△1,820	△3,162
財務CF	9,446	122
NET キャッシュ	15,172	9,417

08年9月期の主な内訳

営業CF

税金等調整前当期純利益

1,701

減価償却費

1,493

売上債権の減少

1,932

棚卸資産の増加

△1,322

法人税等の支払

△1,667

投資CF

有形固定資産の取得による支払

△2,231

投資有価証券の取得による支払

△937

財務CF

短期借入(ネット)の実施

1,815

長期借入(ネット)の返済

△747

自己株式の取得による支出

△557

配当金の支払

△387

■業績の見通し(2009年3月期)(連結)



(単位:百万円)

(連結)	08年3月期 実績	09年3月期 1/2 実績	09年3月期 2/2 予想	09年3月期 予想	増減	
					金額	率
売上高	72,531	37,312	37,688	75,000	2,469	3.4%
営業利益	6,908	2,673	2,427	5,100	△1,808	△26.1%
経常利益	6,369	2,576	2,424	5,000	△1,369	△21.4%
当期純利益	3,657	947	1,553	2,500	△1,157	△31.6%

(注)09年3月期予想の為替相場:US\$1=¥95 €1=¥125

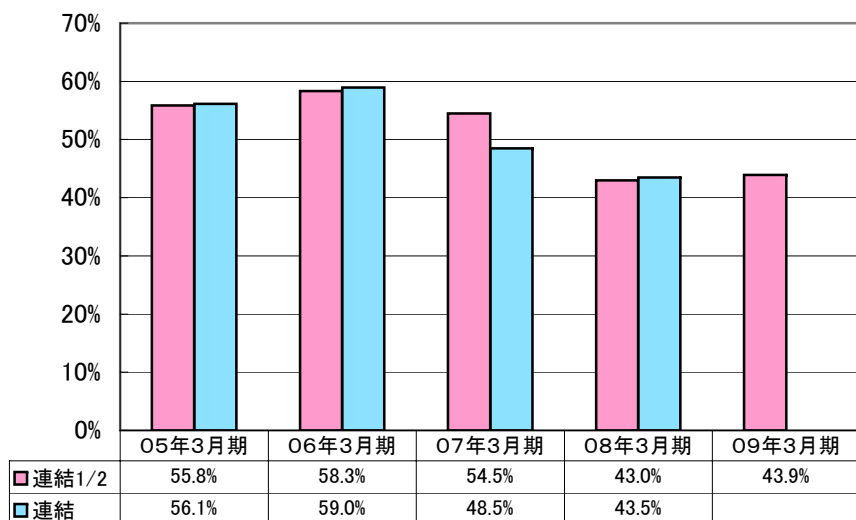
■カンパニー別受注・売上予想(連結)



(単位:百万円)

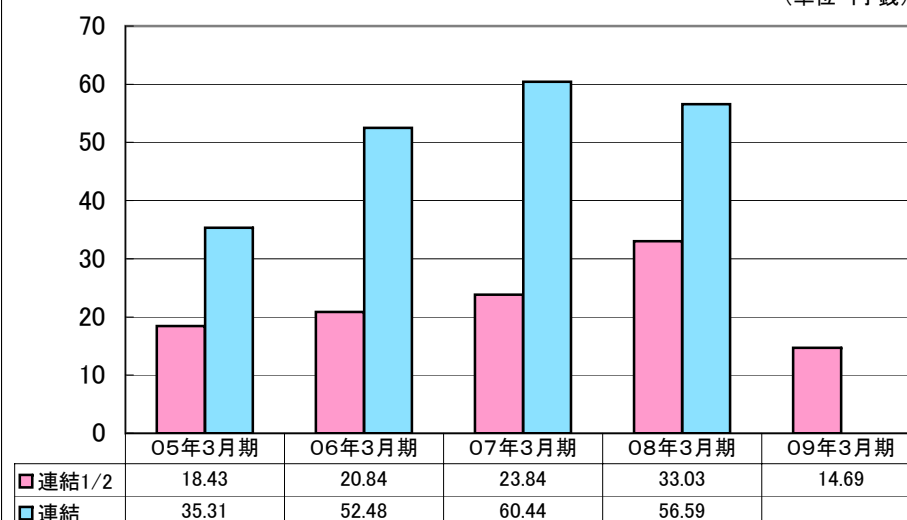
		08年3月期 実績	09年3月期 1/2実績	09年3月期 2/2 予想	09年3月期 予想
流体技術	受注	22,642	10,670	10,330	21,000
	売上	18,280	10,997	11,503	22,500
インダストリアル ソリューションズ	受注	11,005	5,138	5,062	10,200
	売上	10,462	4,631	5,069	9,700
複合材	受注	5,464	2,397	2,403	4,800
	売上	5,482	2,396	2,404	4,800
医療機器	受注	38,262	19,390	18,610	38,000
	売上	38,306	19,286	18,714	38,000
合 計	受注	77,374	37,597	36,403	74,000
	売上	72,531	37,312	37,688	75,000

自己資本比率推移(連結)

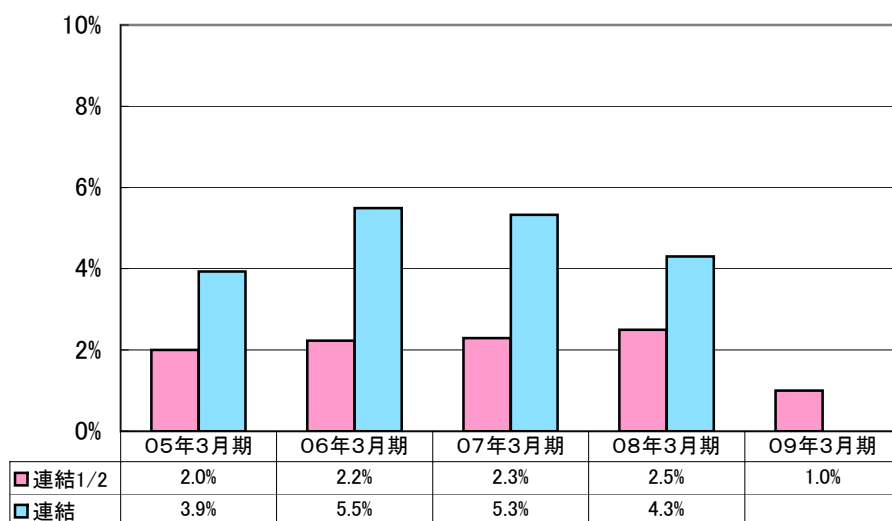


一株当たり当期純利益推移(連結)

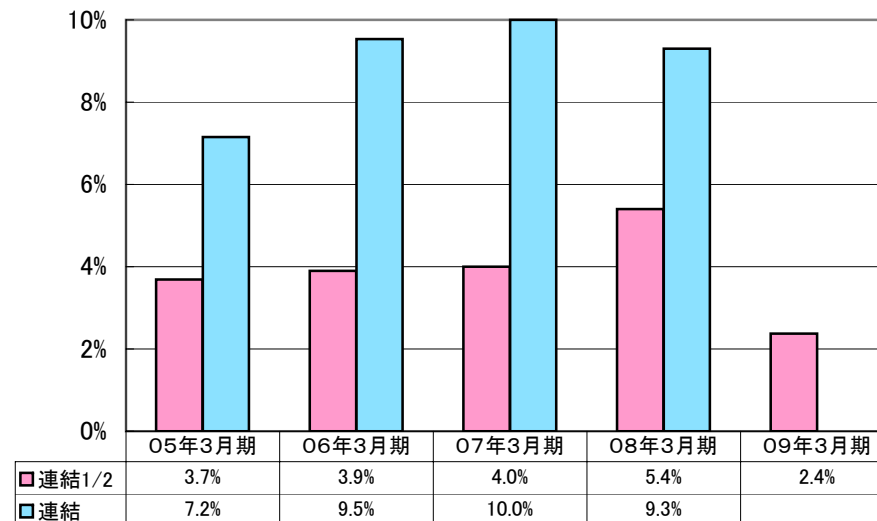
(単位 円 銭)



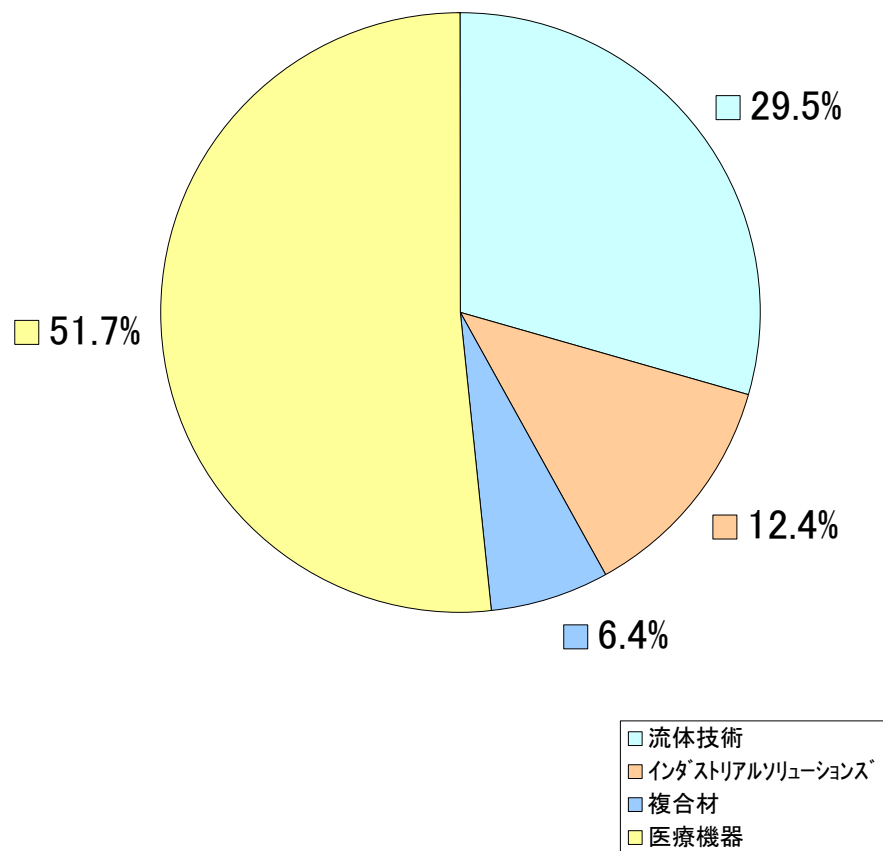
ROA比率推移(連結)



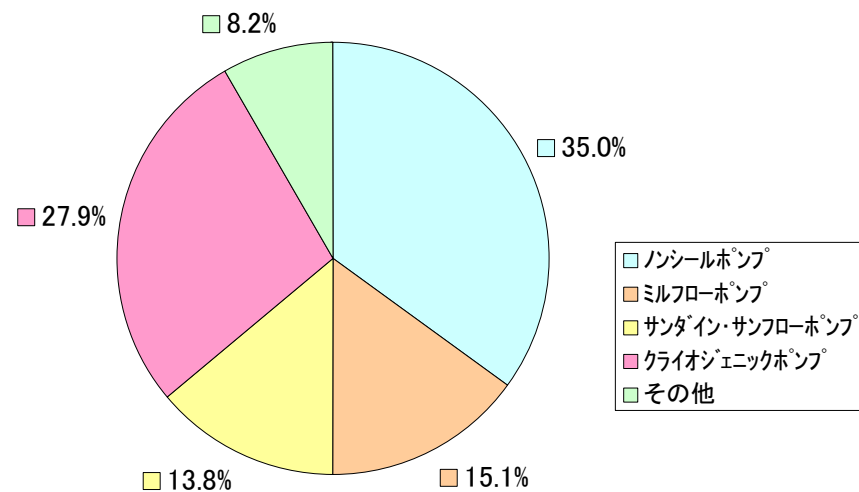
ROE比率推移(連結)



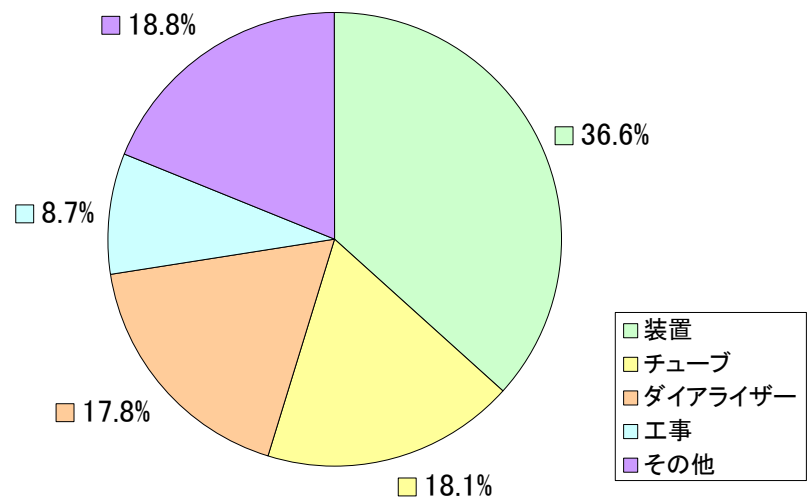
売上高カンパニー別構成(連結)



流体技術カンパニー/売上高製品別構成(単独)

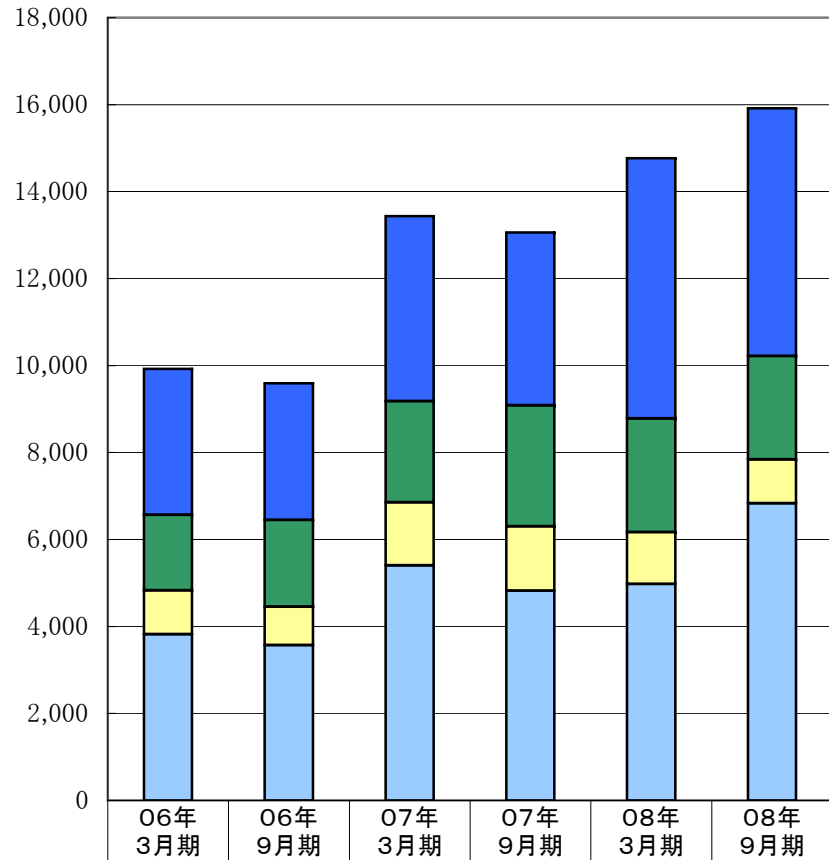


医療機器カンパニー/売上高製品別構成(単独)



海外売上高推移(連結)

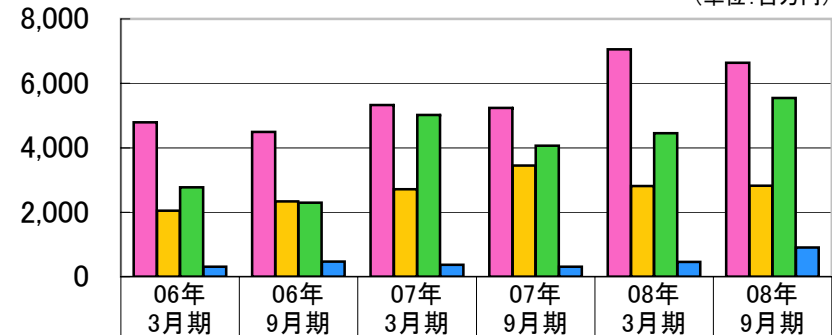
半期データ
(単位:百万円)



	06年 3月期	06年 9月期	07年 3月期	07年 9月期	08年 3月期	08年 9月期
医療機器	3,354	3,143	4,258	3,971	5,988	5,693
複合材	1,740	1,995	2,329	2,787	2,614	2,378
ISOL	1,010	882	1,447	1,478	1,189	1,010
流体技術	3,820	3,569	5,404	4,823	4,978	6,833

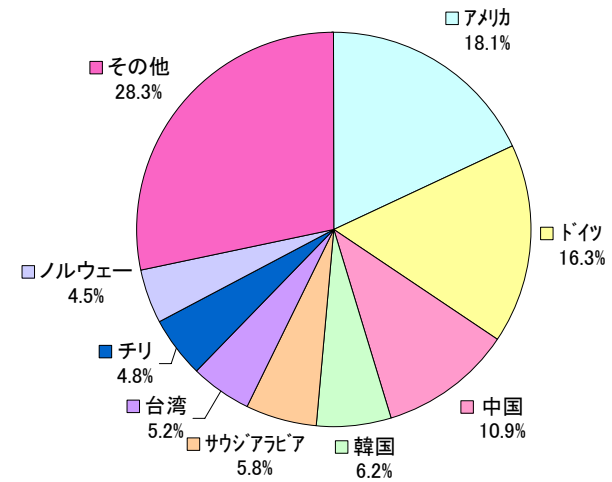
海外売上高推移(連結)

半期データ
(単位:百万円)



アジア	4,792	4,494	5,328	5,236	7,051	6,636
北アメリカ	2,050	2,334	2,717	3,445	2,811	2,827
ヨーロッパ	2,775	2,296	5,023	4,068	4,454	5,546
その他の地域	306	466	370	308	454	904

輸出売上高「国別」構成(単独)



連結 部門別売上高・受注高および受注残高

(単位：百万円)

分区分	項目	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月 30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
工業部門	流体技術 カンパニー	売上高	9,063 (4,823)	26.5 (36.9)	10,997 (6,833)	29.5 (42.9)	1,933 (2,010)	21.3 (41.7)
		受注高	11,062 (6,612)	29.9 (43.8)	10,670 (6,022)	28.4 (39.1)	△392 (△589)	△3.5 (△8.9)
		受注残高	14,165 (11,548)	73.6 (91.9)	16,200 (13,108)	75.1 (89.5)	2,035 (1,560)	14.4 (13.5)
	インターステリアル ソリューションズ カンパニー	売上高	5,229 (1,478)	15.3 (11.3)	4,631 (1,010)	12.4 (6.4)	△597 (△468)	△11.4 (△31.7)
		受注高	5,745 (1,497)	15.5 (9.9)	5,138 (881)	13.6 (5.7)	△607 (△615)	△10.6 (△41.1)
		受注残高	4,207 (556)	21.8 (4.4)	4,741 (534)	22.0 (3.7)	533 (△21)	12.7 (△3.9)
	複合材 カンパニー	売上高	2,821 (2,787)	8.2 (21.4)	2,396 (2,378)	6.4 (14.9)	△424 (△409)	△15.1 (△14.7)
		受注高	2,814 (2,787)	7.6 (18.5)	2,397 (2,378)	6.4 (15.5)	△416 (△409)	△14.8 (△14.7)
		受注残高	19 (-)	0.1 (-)	9 (-)	0.1 (-)	△9 (--)	△50.0 (--)
	小 計	売上高	17,114 (9,089)	50.0 (69.6)	18,025 (10,222)	48.3 (64.2)	910 (1,133)	5.3 (12.5)
		受注高	19,623 (10,897)	53.0 (72.2)	18,207 (9,282)	48.4 (60.3)	△1,416 (△1,615)	△7.2 (△14.8)
		受注残高	18,392 (12,104)	95.5 (96.3)	20,951 (13,643)	97.2 (93.2)	2,559 (1,539)	13.9 (12.7)
医療部門	医療機器 カンパニー	売上高	17,108 (3,971)	50.0 (30.4)	19,286 (5,693)	51.7 (35.8)	2,178 (1,721)	12.7 (43.3)
		受注高	17,422 (4,185)	47.0 (27.8)	19,390 (6,116)	51.6 (39.7)	1,967 (1,930)	11.3 (46.1)
		受注残高	864 (461)	4.5 (3.7)	610 (1,001)	2.8 (6.8)	△254 (539)	△29.4 (117.1)
	小 計	売上高	17,108 (3,971)	50.0 (30.4)	19,286 (5,693)	51.7 (35.8)	2,178 (1,721)	12.7 (43.3)
		受注高	17,422 (4,185)	47.0 (27.8)	19,390 (6,116)	51.6 (39.7)	1,967 (1,930)	11.3 (46.1)
		受注残高	864 (461)	4.5 (3.7)	610 (1,001)	2.8 (6.8)	△254 (539)	△29.4 (117.1)
合 計	売上高	34,223 (13,060)	100.0 (100.0)	37,312 (15,915)	100.0 (100.0)	3,089 (2,854)	9.0 (21.9)	
	受注高	37,045 (15,083)	100.0 (100.0)	37,597 (15,399)	100.0 (100.0)	551 (315)	1.5 (2.1)	
	受注残高	19,257 (12,565)	100.0 (100.0)	21,562 (14,644)	100.0 (100.0)	2,305 (2,078)	12.0 (16.5)	

(注) 下段の括弧内(内書)は、海外売上高・受注高および受注残高であります。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>

2009年3月期
第2四半期決算説明会資料

トピックス

- 目次 -

- | | | |
|-----|---------------------------|--|
| P2. | 流体技術カンパニー | : 世界最大級のクライオジェニックポンプ出荷
: 欧州にポンプの合弁会社設立 |
| P3. | インダストリアル
ソリューションズカンパニー | : 地熱蒸気性状オンラインモニタリングシステム
自動分析装置 開発 |
| | 複合材カンパニー | : ベトナムに新会社設立 |
| P4 | | : ボーイング 777 用「ブロッカードア」受注 |
| | 医療機器カンパニー | : 米国バクスター社との透析関連事業
基本合意締結 |
| P5 | | : 人工透析装置 欧州工場生産開始
: 日機装ベトナム MFG の拡張工事完成 |

世界最大級のクライオジェニックポンプ出荷

2008年6月、世界最大級の大型クライオジェニックポンプを、中国で3番目の液化天然ガス（LNG）受入基地に出荷しました。

このポンプはLNGを液体から気化させる高圧力のプロセスに使用されるもので、当社の米国100%子会社Nikkiso Cryo, Incが製造を行いました。

当社では一昨年から同子会社の検査設備増強、設計、部品調達、製造、検査までの一貫生産体制構築を行い、輸送コストや為替リスク等の低減を図るとともに、長期的に拡大が見込める同市場での積極的な設備投資を行っています。現在も、大型クライオジェニックポンプの需要増加に対応するため、第2期目の増築工事を進めており、本年末の完成を目指しています。



大型クライオジェニックポンプ検査風景

欧州にポンプの合併会社設立

2008年7月、当社は世界有数のポンプメーカーであるドイツKSB社と、共同出資による合併会社Nikkiso-KSB GmbHをドイツに設立しました。

現在、フランクフルト近郊において新工場の工事を行っており、来年2月の竣工を予定しています。新工場では、両社の技術を結集し開発を進めているISO規格に合致したキャンドモ



工事中の新工場

ータポンプの新シリーズを生産します。新シリーズは欧州をはじめロシア、中東、アフリカ市場向けに販売を開始する予定で、今後は欧州での市場シェアを約3割にまで押し上げ、売上規模は現在の3倍である20百万ユーロに拡大させる計画です。

インダストリアルソリューションズカンパニー

地熱蒸気性状オンラインモニタリングシステム自動分析装置 開発

当社は、創立当初から培ってきた火力・原子力発電所向け水質調整システムの技術を応用し、地熱発電所の蒸気性状をリアルタイムで測定する「地熱蒸気性状オンラインモニタリングシステム自動分析装置」を開発いたしました。

地熱発電は、火山活動などの熱エネルギーによって生成された天然の水蒸気でタービンを駆動し電気を得る、化石燃料を使わないクリーンなエネルギーです。既に全世界で約300ユニットが稼働中であり、地球温暖化防止に貢献できる発電方式として期待されています。

同装置では、タービンの腐食や配管等へのスケール付着の原因となっている地熱蒸気中のシリカ、塩化物イオンに加え、非凝縮性ガス濃度、pH、電気伝導率、酸導電率をリアルタイムに測定します。また、蒸気性状分析に障害となる蒸気中の硫化水素や二酸化炭素を自動的に除去するため、発電所の運転管理に重要な情報を高い信頼度でモニタリングできます。

今後は、現在開発中の診断装置と組み合わせることで、プラントの異常診断、予兆診断をオンラインで管理・支援することが可能となるため、さらなる受注拡大が期待できます。



地熱蒸気性状オンラインモニタリングシステム自動分析装置

複合材カンパニー

ベトナムに新会社設立

2008年12月、当社は近年の旺盛な航空機需要に応えるため、ベトナムに100%子会社の日機装ベトナム（Nikkiso Vietnam, Inc.）を設立いたします。2009年10月にはハノイ市郊外の第2タンロン工業団地内に、新工場を竣工させ、炭素繊維複合材料（CFRP）を原料とした航空機用部品の生産を開始いたします。

敷地面積は37,000㎡で、延べ床面積は第1期工事分が2,000㎡。立ち上げ時の従業員は約30名を予定しています。第1期工事の総投資金額は約700百万円で、為替リスクの回避と合わせ、現地の良質な労働力を採用することで、より価格競争力のある生産体制の構築を目的にしています。



新工場完成予想図

同社では、今後さまざまなCFRP製品の生産を開始する予定で、4年後には国内の既存工場（静岡製作所内 複合材製品工場）と同等の50億円規模の生産高を目指しています。また将来的には人工透析装置の部品組立など、医療向け製品の生産も視野に入れていきます。

ボーイング777用「ブロッカードア」受注

当社はボーイング社製777型航空機（以下、B777）用部品「ブロッカードア」を新規受注いたしました。現在、量産化に向けた製造準備に着手しています。

ブロッカードアは、ジェットエンジンの逆噴射装置に使用されるパネル状のCFRP製品で、着陸の際ジェットエンジンのバイパス流を遮断し、逆噴射エアーを発生させます。

今回の受注は、発注元である世界有数の航空機メーカー、米国スピリット社（Sprit AeroSystems, Inc.）から、当社のCFRP成型技術、品質、納期厳守の体制が高く評価された結果であり、当社CFRP製品の「カスケード」以外への展開のさらなる足掛りとなるものです。

B777は1995年の初号機就航以来、700機を超える生産実績を持つベストセラー大型航空機です。貨物機を含め多くの派生機が開発されており、今後も多数の受注が見込まれています。この実績を生かし、今後はB777を含む全ての航空機に当社製「ブロッカードア」が採用されるよう、積極的な営業活動を行うとともに「カスケード」、「ブロッカードア」に続く新たな航空機用部品の受注獲得に注力してまいります。



ブロッカードア

医療機器カンパニー

米国バクスター社との透析関連事業 基本合意締結



新販路で販売する
人工透析装置 DBB-05

2008年5月、当社は米国バクスター社（Baxter Healthcare Corporation）と透析関連事業の業務協力を行うことに合意いたしました。

これによりバクスター社は、当社製人工透析装置および付随する血液回路や微粒子濾過フィルターを、バクスター社の持つ販路を通じて中南米、ヨーロッパ、アジアなどの国々に向け販売を進めることになりました。

バクスター社は世界100カ国以上に拠点をもち、医薬品、医療機器類およびバイオテクノロジーに関わる専門技術などを全世界に提供しています。

当社とバクスター社とは、透析事業関連の製品群が補完関係にあるので、相乗効果を発揮するものと期待されます。

人工透析装置 欧州工場生産開始

2008年5月、ドイツ・ハノーバー市の日機装メディカルシステムズ社 (Nikkiso Medical Systems GmbH) の工場改築工事が完成し、7月から欧州向け人工透析装置DBB-05の生産を開始しています。



敷地面積約20,000㎡、床面積約5,000㎡の同工場では、欧州での医療機器の製造・販売に不可欠なMDD(医用機器指令)認証を取得しています。今後は成長が見込まれる海外市場に向けた人工透析関連製品などの重要な生産拠点として、さらに体制を充実させていく予定です。



生産を開始した欧州工場

日機装ベトナムMFG 拡張工事完成

2008年6月、ベトナム・ホーチミン市の医療機器生産拠点、日機装ベトナムMFG (Nikkiso Vietnam MFG Co., Ltd.)の第2期工場拡張工事が完成し、竣工式を行いました。人工透析用血液回路の生産を行う同社では、新たに滅菌棟、管理棟を増築したほか、射出成型機などの新規設備を導入し、従来年産840万セット体制であった血液回路の生産能力を、1,300万セット体制へと増加させました。



竣工式

これにより、急速な拡大が続く海外の人工透析市場への迅速な対応に加え、日本国内に向けて、より価格競争力のある製品供給を視野に入れた新たなビジネス展開を図っていくことが可能になりました。

今後は、この生産能力増強の効果をいかに発揮し、世界の透析治療に貢献できる高品質な製品作りに邁進してまいります。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>